

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502298		
法人名	有限会社 優コーポレーション		
事業所名	グループホーム 厚 宮 館		
所在地	札幌市厚別区厚別西3条1丁目1番30-2号		
自己評価作成日	平成25年10月11日	評価結果市町村受理日	平成25年11月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=0170502298-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成25年10月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日頃より入居者様の健康管理に十分な注意を払うよう心掛けております。
入居者様の体調に変化が見受けられた際には、速やかに協力医療機関に連絡、相談を行い、必要な治療を受けていただく事により、少しでも長く元気で過ごして頂けるようサポートを行っております。
また町内会は、各種町内会行事へ積極的にお誘い下さるだけではなく、入居者様が行事参加の際に暖かく迎えて下さるなど高齢者福祉へ深いご理解を持たれており、運営推進会議や自衛消防訓練実施の際にも参加、協力を頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム 厚宮館」はバス停から近い住宅街に立地し、近くには遊歩道や公園があり、散歩が楽しめる自然環境である。2階建ての共用空間は家庭的な雰囲気である。母体の医療法人が平成15年に地域貢献を方針に開設した当事業所は、一貫として地域との密接な運営を心がけている。利用者は地域の一員として町内会や地域の行事に参加し、公園の清掃活動にも参加して出来ることを住民と一緒にやっている。協力医療機関と24時間の連携体制で本人・家族の安心できる環境を提供している。運営推進会議で町内会と協力体制を話し合い、火災避難訓練には町内会役員や住民の参加が得られている。夜間には隣接している法人系列のグループホームとも緊密な協力体制を取って災害時や緊急時に備えている。職員は研修などで学びながら個別ケアに取り組んでおり、毎月のスタッフ会議では職員が進行を受け持ち、業務や日々のケアについて意見を交換して決めている。館長は現場が主体になって行動できるように、コミュニケーション大事にして利用者のケアに活かされるよう側面から指導している。利用者は日々の散歩の他、月に1回は外出行事を楽しみ、冬季も車で大型店舗に出かけている。

V. サービスの成果に関する項目(1階ユニットアウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えていく (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(1階ユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ユニット内に理念を掲げ、職員間で共有を図るとともに、実践を心掛けております。	地域とのつながりの中で利用者の自立面を支えるという、基本理念の精神を意識して町内会活動に参加している。職員の採用時に理念を説明し、申し送り時には理念に立ち返って確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事には、入居者、職員ともに可能な限り積極的に参加し、地域の方々と馴染みの関係を築けるよう努めています。	町内会の清掃活動には、車椅子使用の人も参加して一緒にゴミ拾いをしている。館長は町内会行事に積極的に関って協力しており、また隣接のグループホームと合同の夏祭りや餅つき行事には近所の手伝いがあるなど、双方間で交流を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	御相談があった際には、適切なサービス利用が行えるよう助言を行っております		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	評価の取り組み状況等は報告しておりませんが、御利用者様に対してのサービスの報告を行っており、町内会や御家族様から意見や要望を頂くよう努めております。	会議では、事業所の取り組みやサービス評価などの報告が中心になっている。行事や避難訓練には町内会の協力がある。家族に会議案内と議事録を送付しているが、家族代表の参加にとどまっており、意見交換や情報交換の場として十分とは言えない。	大まかな年間のテーマを設定し、会議案内にはテーマについて意見をいただくような工夫などで、意見、情報交換の場になるよう、更なる取り組みに期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険の更新手続きなどの事務手続きや生活保護受給者の近況報告や連絡、相談などを随時行っております。	書類提出の時は、直接届けて関係を築くように努めている。市・区の管理者会議の研修会に参加してケアなどに役立てている。生活保護担当者の来訪時には情報を交換している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止の対象となる行為を理解し、玄関の施錠については、防犯や入居者様の安全確保を目的として、夜間においてのみ行っておりますが、身体拘束しないケアの実践に努めております。	マニュアルには、身体拘束になる事例をあげて理解を深めているが、指定基準における禁止の項目は明記されていない。利用者の言動を観察して、理由を探りながら言葉がけや対応を話し合い、玄関の自由な出入りも、チャイムの音で把握している。	マニュアルに「禁止の対象となる具体的な行為」の項目を追加し、職員間で基本となる行為について確認し、更に理解を深めるような機会に期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的または、言葉による虐待は行っておりません。身体面では、傷・アザ等の観察を行い、発見時には図入りで記録に残し、事故か虐待かを見極め防止に努めるとともに、職員間で情報の共有を図っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階ユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、学ぶ機会を持てておりません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約の際や改定の都度説明を行い、理解・納得を得られよう努めております。また、御家族様より疑問、不安等の相談が場合には、ご理解頂けるよう出来るだけ丁寧な説明を心掛けております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や運営推進会議などでご意見・ご要望の収集に努めており、御家族様より不満・苦情があった場合には、介護職員全員で会議を設けて対応策の検討を行い、改善するように努めています。	家族の来訪時には意見を聞いているが、率直な意見もいただけるように家族アンケートを行い、更にサービスに活かしたい意向である。家族の思いを吸い上げるためにも、職員間で共有できる記録の方法を検討している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、日々の申し送りや月例のスタッフ会議等、随時職員の意見や提案を聞いております。	スタッフ会議は職員が進行を受け持ち、業務や日々のケアについて意見を交換して決めている。館長は、現場が主体になって行動できるように側面から支え、夜遅くまで事業所内に残り夜勤者の不安や相談にも対応できるように配慮している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	普段、接する機会がほとんどありません。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内等は職員が閲覧できるようにしております。参加希望者に対しては、参加できるようシフト調整など業務面での支援を行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、地域の同業者との交流や勉強会の機会を持つべく、活動しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(1階ユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	可能な限りサービス利用を開始前に御本人様と面談を行い、訴えを傾聴し、本人との信頼関係を築くことが出来るよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様の相談には機会を作って伺い、受け止める努力をしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用前に管理者が可能な限り情報収集を行い、管理者、職員間でカンファレンスを設け必要としている支援の見極めに努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	御利用者様の気持ちや立場の理解に努め、支え合う関係づくりに努力しています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様との信頼関係を構築できるよう、御家族とのコミュニケーションを大切にしよう努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	可能な限り、御利用者様が大切にしてきた人や場所との関係が途切れないよう、家族や友人などへの連絡などの支援を可能な限り行っております。	もと住んでいた地域の知人が来訪することもあり、途切れないように支援している。家族の協力でお墓参りや美容室、買い物などに出かけている。事情に沿って、年に数回は職員の同行で外食や買物に出かけている利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御利用者様同士の関係を把握し問題が起きないように配慮すると共に、共通して楽しめる行事や話題づくりを支援しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(1階ユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了に際しても、引き続き御家族様が気軽にホームに立ち寄れる関係の維持に努めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御利用者様との会話を通じて、一人ひとりの思いや暮らし方の希望や意向の把握に努めております。	アセスメントシートの活用を工夫して利用者目線からの情報蓄積を進めているところである。会話や、言葉にならない思いを表情から汲みとってケアに活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に御家族様から頂いた情報を職員で共有し、生活環境の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方、有する力の把握に努め、各入居者の支援に役立ております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御利用者様の立場に立ち、御本人・御家族様の要望、意見を取り入れ、スタッフ会議で各職員、課題について意見を出し合い、介護計画を立案しております。	介護計画は基本的に3か月期間で見直している。担当職員が評価した内容をカンファレンスで課題を協議し、更新計画を作成している。日々の記録は介護計画に連動させて行い、特に変化などを記録して次の見直しにつなげたい意向である。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や介護の実践は個別記録に記録し、職員間で情報を共有して、カンファレンスにて介護計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関への通院や定期的な看護師の訪問、訪問理美容、訪問マッサージなど、個々の要望に応じて支援を行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察や消防とは協力体制を取っており、民生委員や地域の方には、運営推進会議への通じて協力を頂いております。また、行事の際には、近隣住民や地域ボランティアに参加協力頂いて降ります。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	協力医療機関以外の医療機関への通院など、御本人及び御家族などの希望を大切に、御家族様の協力を得ながら適切な医療を受けられるよう支援に努めております。	2週に1回協力病院の往診の他、かかりつけ医や他科受診時には、家族と相談しながら主に職員が同行して主治医と連携して健康を管理している。受診記録は、個別に記録して経過を把握している。	

グループホーム 厚宮館

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(1階ユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関の看護師による週一回の訪問の他、24時間いつでも相談、支援を受けられる体制が整っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	御利用者様が入院した際、出来るだけ早期に退院出来るよう、病院関係者との情報交換や相談を行うと共に、関係づくりに努めております。また、入院中は、可能な限り管理者が面会しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末のあり方について、御本人、御家族様等と話し合いを行い、必要に応じて主治医との話し合いの場を設けて対応するよう、入居契約の際に御家族様に説明しております。	利用契約時に重度化と終末期の対応指針の中で、継続して医療行為が必要な場合は、対応が難しいことも説明し同意を得ている。主治医の判断の下で、その都度方針を話し合い、内容を個人記録に記載している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	管理者、職員は応急手当の訓練や初期対応に関して定期的に確認を行い対応できるようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署、地域の消防団員、近隣住民の協力を得て年2回、夜間想定での自衛消防訓練を実施しております。また、運営推進会議を通して助言、協力を頂いております。	消防署立会いで、次回は日中を想定した火災避難訓練を予定しているが、地震や水害などの訓練は今後の課題としている。停電時のストーブなども購入し、災害備蓄品類を整備している。職員の救急救命訓練の受講は消防署と相談中である。	地震や水害を想定し、事業所内でも職員間でシュミレーションを行い、ケア別の対応や安全面の確認を期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いや接し方、接遇の基本をわきまえながら、状況に応じて、親しみのある言葉掛けで対応するよう心掛けております。	申し送りは部屋番号で行い、個人記録はスタッフコーナーで適切に保管している。声かけは、馴れ合いにならないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御利用者様の状況を把握し、自分らしく生活できるよう支援に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御利用者様の生活のスペースを把握し、個々の満足が得られるように努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自己決定できる方は、それを尊重し、そうでない方には、その人らしいおしゃれができるよう支援しています。		

グループホーム 厚宮館

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(1階ユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の入居者様にあった作業を職員と一緒に行うよう努めております。	調理の下拵えや盛り付けなどを一緒に行っている。ラーメンの出張調理や寿司の出前、バイキングなどに出かけている。年末には餅つきを楽しんだり、畑で収穫した枝豆を味わっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を記録し、一日の摂取量の把握に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、御利用者様の自立度に合わせ見守り、または介助にて口腔ケアを行い、口腔内の状態の把握に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を活用し、個々の排泄パターンの把握に努め、可能な限りトイレで排泄をして頂けるよう適時声掛け、誘導などの支援を行っております。	全員の排泄を記録して間隔を把握し、日中はトイレで排泄できるように支援している。排泄間隔が短く、睡眠が妨げられる場合は夜間のみオムツを使用する事もある。個々の状態や時間帯に応じて、パットの大きさにも配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表で管理し、個々の便秘の原因を理解し、予防に取り組んでおります。また、必要に応じて医師に指示をいただき対応しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴表を活用し、一人ひとりの希望や気分、体調に合わせて入浴を楽しめるように、個々の入居者様あった支援を心掛けております。	午後の時間帯を基本に、入浴表を活用しながら週2回スムーズに入浴出来るように支援している。状況に応じて、リフトを利用して入浴支援を行っている。入浴剤の種類を変えたり、好きなシャンプーなどを準備して入浴が楽しめるように工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調や状況を考慮し、適時休息、午睡をとって頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報は常に、職員が閲覧できる場所に整理整頓されており、薬の出し入れ、入居者様への手渡し、服用の際に職員が三度チェックを行い、誤薬が起きないように徹底しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴を考慮しながら、得手、不得手を把握し、料理、園芸など各入居者様に合った作業を職員と一緒にを行っています。		

グループホーム 厚宮館

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(1階ユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの希望に沿うことは出来ませんが、可能な範囲で個別の買い物に付き添ったり、御家族の協力により外出、外泊に連れ出して戴けるよう支援しております。	天候に応じて、車椅子の利用者も一緒に近隣の遊歩道を散歩したり、庭先で外気浴を行っている。冬季は、雪まつりを車窓から見学したり、体重測定で病院に出かけている。大型ショッピングセンターや紅葉見学、川下公園などに出かけている。希望に応じて、個別の買い物にも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほとんどの御利用者様は、お金の管理はできませんが、御本人がお金を持つ事の大切さを考慮し、御家族様と職員が協力しお金を所持、使う事を支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御利用者様の希望があれば、手紙や電話はできるようにしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	絵画や植物、御利用者様が製作した作品などを飾り、心地良く過ごして頂けるような工夫を心掛けております。	大きな窓に面した居間と食堂は明るく開放感があり、畳敷きコーナーには和風の照明を備えるなど、趣のあるユニットもある。居間や廊下の壁には、行事や花の写真がさりげなく飾られている。今後、利用者の喫煙習慣を取り入れながらも喫煙場所を検討して、全利用者が気持ちよく健康的に過ごせるように配慮する意向である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの配置を工夫し御利用者様が思い思いに過ごせる場所を確保しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際、入居者様が自宅で使い慣れ親しんだ家具や食器を持ってきて頂けるように、御家族様に説明を行い、協力を頂いております。	介護状況に応じて、笑顔マークを色分けして入り口に貼り、災害時の支援に役立てられるように工夫している。室内には使い慣れたダンスや鏡台、仏壇などを持ち込んだり、壁に写真などを飾り、落ち着いて過ごせるような居室作りを行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーとし、手摺りや階段を利用することで、入居者様が安全かつできるだけ自立した生活が送れるよう工夫しております。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502298		
法人名	有限会社 優コーポレーション		
事業所名	グループホーム 厚 宮 館		
所在地	札幌市厚別区厚別西3条1丁目1番30－2号		
自己評価作成日	平成25年10月11日	評価結果市町村受理日	平成25年11月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=0170502298-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「1階ユニット」に同じ

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成25年10月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(2階ユニットアウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階ユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ユニット内に理念を掲げ、職員間で共有を図るとともに、実践を心がけています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事には、入居者・職員ともに可能な限り積極的に参加し、地域の方々と馴染みの関係を作るよう努めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	御相談があった際には、適切なサービスが行えるよう助言を行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	御利用者様に対してのサービスの報告や評価の取り組み状況等は報告しておりませんが、町内会や御家族様から意見や要望を頂くよう努めております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険の更新手続きなどの事務手続きや生活保護受給者の近況報告、連絡・相談など随時行っております。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止の対象となる行為を理解し、玄関の施錠については、防犯や入居者様の安全確保を目的に夜間においてのみ行っているが、身体拘束しないケアの実践に努めております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的または、言葉による虐待は行っておりません。身体面では、傷・アザ等の観察を行い、発見時には図入りで記録に残し事故か虐待かを見極め防止に努めるとともに、職員間で情報の共有を図っております。		

グループホーム 厚宮館

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階ユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、学ぶ機会を持っておりません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	その都度説明し、理解・納得を得られよう努めております。また、御家族様より疑問、不安等の相談が場合には理解して頂けるよう出来るだけ丁寧を心掛けております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や運営推進会議などご意見・ご要望の収集に努めており、御家族様より不満・苦情があった場合には、介護職員全員で会議を設けて対応策の検討を行い、改善するように努めています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、日々の申し送りや月例のスタッフ会議等、随時職員の意見や提案を聞いております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	普段、接する機会がほとんどありません。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修・講習を段階に応じて行っており、研修案内等は職員が閲覧できるようにしております。参加希望者に対しては、参加できるようシフト調整など業務面での支援を行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、地域の同業者との交流や勉強会の機会を持つべく、活動しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階ユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用を開始段階で御陵者様の訴えを傾聴し、本人の信頼関係を築くことが出来るよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様の相談には機会を作って伺い、受け止める努力をしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、職員間でカンファレンスを設け必要としている支援の見極めに努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	御利用者様の気持ちや立場を良く理解し、支え合う関係づくりに努力しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様との信頼関係を構築できるよう、御家族とのコミュニケーションを大切にしよう努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	可能な限り、御利用者様が大切にしてきた人や場所との関係が途切れないよう、家族や友人などへの連絡などの支援を行っております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御利用者様同士の関係を把握し共通して楽しめる行事や話題づくりを支援しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階ユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了に際しても、引き続き御家族様が気軽にホームに立ち寄れる関係の維持に努めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御利用者様との会話を通じて、一人ひとりの思いや暮らし方の希望や意向の把握に努めます。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に御家族様から頂いた情報を職員で共有し、生活環境の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方、有する力の把握に努め、各入居者の支援に役立てております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御利用者様の立場に立ち、御本人・御家族様の要望、意見を取り入れスタッフ会議で各職員、課題について意見を出し合い、介護計画を立案しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や介護の実践は個別記録に記録し、職員間で情報を共有して、カンファレンスにて介護計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関への通院や定期的な看護師の訪問、訪問理美容など、個々の要望に応じて支援を行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察や消防とは協力体制を取っており、民生委員や地域の方には、運営推進会議への通じて協力を頂いております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	協力医療機関以外の医療機関への通院など、御本人及び御家族などの希望を大切に、適切な医療を受けられるよう支援に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階ユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関の看護師による週一回の訪問の他、24時間いつでも相談、支援を受けられる体制が整っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	御利用者様が入院した際、病院関係者との情報交換や相談に努め、関係づくりを行っております。また、入院中は、可能な限り管理者が面会しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末のあり方について、御本人、御家族様等と話し合いを行い、必要に応じて主治医との話し合いの場を設けて対応するよう、入居契約の際に御家族様に説明しております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	管理者、職員は応急手当の訓練や初期対応に関して定期的に確認を行い対応できるようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署、地域の消防団員、近隣住民の協力を得て年2回、夜間想定での自衛消防訓練を実施しております。また、運営推進会議を通して助言、協力を頂いております。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いや接し方、接遇の基本をわきまえながら、状況に応じて、親しみある言葉掛けで対応するよう心掛けております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御利用者様の状況を把握し、自分らしく生活できるよう支援に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御利用者様の生活のスペースを把握し、個々の満足が得られるように努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自己決定できる方は、それを尊重し、そうでない方には、その人らしいおしゃれができるよう支援しています。		

グループホーム 厚宮館

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階ユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の入居者様にあった作業を職員と一緒に行うよう努めております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を記録し、一日の摂取量の把握に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、御利用者様の自立度に合わせ見守り、または介助にて口腔ケアを行い、口腔内の状態の把握に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を活用し、個々の排泄パターンの把握に努め、可能な限りトイレで排泄をして頂けるよう支援を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表で管理し、個々の便秘の原因を理解し、予防に取り組んでおります。また、必要に応じて医師に指示をいただき対応しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴表を活用し、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、個々にあった支援を心掛けております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調や状況を考慮し、適時休息をとって頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報は常に、職員が閲覧できる場所に整理整頓されており、薬の出し入れ、入居者様への手渡し、服用の際に職員が三度チェックを行い、誤薬が起きないように徹底しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴を考慮しながら、得て不得手を把握し料理、園芸など各入居者様に合った作業を職員と一緒にを行っています。		

グループホーム 厚宮館

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階ユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの希望に沿うことはできませんが、可能な範囲で個別の買い物に付き添ったり、御家族の協力により外出、外泊に連れ出して戴けるよう支援しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほとんどの御利用者様は、お金の管理はできませんが、御本人がお金を持つ事の大切さを考慮し、御家族様と職員が協力しお金を所持、使う事を支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御利用者様の希望があれば、手紙や電話はできるようにしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	絵画や植物、御利用者様が製作した作品などを置き心地良く過ごして頂けるような工夫をしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの配置を工夫し御利用者様が思い思いに過ごせる場所を確保しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際、入居者様が自宅で使い慣れ親しんだ家具や食器を持ってきて頂けるように、御家族様に説明しております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーとし、入居者様が安全かつできるだけ自立した生活が送れるよう工夫しております。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム 厚宮館

作成日：平成 25年 11月 14日

市町村受理日：平成 25年 11月 15日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	会議では、事業所の取り組みやサービス評価などの報告が中心になっている。行事や避難訓練には町内会の協力がある。家族に会議案内と議事録を送付しているが、家族代表の参加にとどまっており、意見交換や情報交換の場として十分とはいえない。	運営推進会議が積極的な意見交換の場になるよう工夫する。	大まかな年間テーマを設定し、会議案内には、テーマについて意見を頂くよう工夫をするなどで、家族の意見を汲み取り、積極的な意見交換を行えるようにしていく。	1年
2	6	マニュアルには、身体拘束になる事例をあげて理解を深めているが、指定基準における禁止の項目は明記されていない。	介護職員に対し、身体拘束についての一層理解を深め、身体拘束をしないケアを今後も実践する。	身体拘束について、事例を挙げるだけでなく、指定基準における禁止項目への理解深めるべく、スタッフ会議などで定期的に確認、勉強会を行い、身体拘束をしないケアを今後も実践していく。	1年
3	35	火災時の避難訓練は行っているが、地震、水害を想定した訓練が十分に行えていない。	火災時の避難訓練のほか、地震、水害を想定した訓練の実施を図る。	地震、水害を想定した避難、対処の方法について、スタッフ会議などで定期的に話し合い、火災以外の災害に備えていく。また、日頃より町内会との連絡、連携の維持に努め、非常災害に備える。	1年
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。